

# 令和5年度 園評価(職員・保護者及び関係者評価記述)

## ⇒令和6年度に向けて (大庭幼稚園)

項目ごとに4段階で回答していただきました。

A:よくあてはまる 3点 B:だいたいあてはまる 2点 C:あまりあてはまらない 1点 D:あてはまらない 0点  
とし、項目ごとに平均点を算出し、以下の判定基準で評価判定しました。

A:適切だと思われる …評価数値2.4以上(達成率80%)

B:概ね適切だと思われる …評価数値1.8~2.3

C:あまり適切だと思われない …評価数値1.2~1.7

D:評価や改善策の見直しが必要 …評価数値1.1以下

	No.	質 問	職 員	※保 護 者	C の 数
保育内容・学級経営	1	子どもは、幼稚園に行くのを楽しんでいますか。	3.0A	3.0A	
	2	子どもは、自分のしたい遊びを見つけて楽しく遊んでいると思われませんか。	2.7A	3.0A	
	3	子ども一人一人に応じたきめ細やかな指導がなされていますか。	2.7A	3.0A	
	4	教育内容を工夫していますか。(園庭の環境をいかした遊び、田んぼの活動や園外保育、異年齢で一緒に遊ぶなど)	3.0A	3.0A	
行	5	行事は、年間を通して様々な体験ができるように工夫されていますか。	2.7A	3.0A	
安	6	安全な生活がおくれるように配慮していますか。	2.0B	3.0A	
環境	7	施設や設備は整備され、有効に活用されていますか。	1.7C	2.0B	2
	8	幼児の生活にふさわしい環境になるように工夫していますか。	2.0B	2.7A	
連携	9	園だより・学級だより、保護者会などで活動の様子や教育方針等を分かりやすく伝えていますか。	2.7A	3.0A	
	10	文書や連絡など(掲示物、スクールメールなど)は、分かりやすく適切ですか。	2.5A	3.0A	
	11	登園やお迎えの時の担任との情報交換、れんらくちょうなどにより家庭との意思疎通を図っていますか。	2.7A	3.0A	
職員	12	協働体制であり、安心して職務に専念できる職場でしたか。	2.7A		
	13	教育公務員としての自覚をもち、研修・研究に務め実践にいかすことができましたか。	2.7A		

### 職員自由記述

・前年度または1学期の様子等把握しきれず、園務分掌や行事等計画通りに進まないことがあったように思う。余裕をもって取り組んでいきたいと思う。

・「連絡ノート」の使い方について一方通行になりがちであったので、もう一度「連絡ノート」の使い方、意義など保護者と共有してより良い連携につなげていきたい。

・(環境、安全について)古い建物ではあるが、危険があれば速やかに対応してきている。廊下の傷みが激しく、手入れが行き届かないのが申し訳ない。園庭については、園長の作業のより過ごしやすくなった。

・(連携について)特別なことはできていないが、保護者の声に積極的に耳を傾け、共に歩む姿勢を大切にしてきたことで、関係性が築けていると感じている。園長だよりをHPに載せたことでいつも新鮮な情報を提供できていると思う。

・(保育内容・行事等について)少人数だからこそできることを全職員で考え、工夫して保育を行うことができたと思う。“自分のしたいことができる”“楽しみに通う”姿は、園児も職員も同じだと思う。園児の成長は職員の成長にもつながっていると実感している。

・(幼児教室担当)園内の子どもたちや先生方が幼児教室に来る親子さんにいつも温かく声をかけてくださり、安心して過ごすことができた。一人担当で子どものとらえ方や保護者への対応について悩むこともあるが、相談しやすい園内の雰囲気や体制に感謝している。

## 園関係者評価記述

### 【良好な点】

・園長による園庭の整備が年間を通じてなされ、特に「げんきもりもり運動会」では、少人数の園児ながら園庭全体を使っただけのアイデアいっぱいの競技があり、良好な保育環境となっている。

・他の幼稚園・保育所・大庭小学校との交流活動も出来ているほか、隣接する大庭公民館の「ふたば学級(未就園児)」との交流会も行っておられる。

・地域の「かもすの会」のみなさんと米作りを行い、春の田植えから秋の収穫のまで、保護者の方々も含めてより良い交流がなされている。また園周辺の「はにわロード」や神魂神社等を利用しての園外保育を実施されている。

・少人数だからこそできることを職員全員で考え実践しておられ、保護者の方達ともより良いコミュニケーションが取れている。

・園のHPに「園長だより しえんの輪・よりそう心！」をアップしておられ、園の様子を随時地域内外へ積極的に発信しておられる。

### 【課題点】

・園舎内外の老朽化が進んでおり、特に外壁塗装の剥がれや廊下及び遊戯室の床材の劣化が著しく、早急な改善が必要である。

・園では「ごはんの日」を週一のペースで実施されているが、保護者のニーズに寄り添うためにも、月に何度か給食日の実施を検討されたい。

## 受け止めと今後の取組について(来年度に向けて)

### 1 アンケートより

・職員、保護者ともほぼどの項目も、A(適切だと思われる。)B(概ね適切だと思われる。)であった。子どもたちをまんなかにして園と保護者が連携して取り組んでいる成果だと考える。

・一方で連携ツールの一つである「連絡ノート」の活用については、課題と感じており改善の余地がある。更なる保護者との連携につなげていきたい。

・項目7については、継続した課題であり、保護者(B)・職員(C)共通したものになっている。C(あまり適切だと思われない)の数も多く、本園の喫緊の課題である。教頭を中心としてできる限りの対応はしており、園での対応は限界である。6の安全な生活とともに今ある環境の中でどのように取り組むといいのか考えるとともに根本的な修繕、改築の要望を出し続けたい。

・小規模、異年齢混合学級は継続するが、少人数の良さを十分生かした保育が展開されていると考える。更なる研究とともに、保護者地域への理解・啓発も継続して進めていきたい。

### 2 その他

・来年度は、松江市の幼稚園再編計画が進むと思われるが、子どもたち・保護者にとって安心して再編後の幼児教育が保証されるよう現在の園経営を進め、日々の保育や行事の在り方についてさらに検討していきたい。